

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	これまで意志疎通が可能な利用者及び全ての利用者家族には、重度化や終末期医療の方針を口頭で確認してきたが、書面を取り交わしての確認ができていなかった。	全ての利用者及び利用者家族から、書面により延命治療と延命措置(終末期医療)に関する希望書をアンケート方式で、署名の上提出していただくことにした。3月10日現在、6名中5名の利用者より受領済。	未提出の利用者1名の家族にも早急に提出していただくよう、粘りよくお願いを継続する。	3ヶ月
2	34	利用者の体調の急変や事故発生時の対応は、マニュアルに基づき対応してきたが、「救急救命講習」の参加は管理者のみだった。	3月11日に「AED」を設置し、導入時に医療メーカー担当者より「胸骨圧迫」「人工呼吸」「AED取扱操作」について、4名がマネキンを使用した実地指導を受けた。	「AED」導入時に研修を受講できなかった職員には順次機会を設け、管理者及び総務担当者が指導し、より多くの職員が対応出来るようにする。	6ヶ月
3	35	火災に対してハード面の対策は万全であるが、避難訓練は「自主避難訓練実施要領」の作成のみに留まる。	火災防火設備の点検時に合わせ、消防署にも協力をお願いし、夜間を想定した「避難訓練」を計画し実施する。	「自主避難訓練実施要領」を再度見直し、出きる限り早急に変更できるようにする。	6ヶ月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。